

今号の内容 ページ

- ◆被災地によみがえる笑顔ほか 2~3
- ◆市民健康まつりを開催ほか 4~5
- ◆水に親しんだ「スイ!水!すい!」 6~7
- ◆消防団が県消防操法大会 3位入賞ほか 8
- ◆中学生キャリアウィークほか 9
- ◆市民のひろば(10-11) ◆川柳(11) ◆図書館・水の郷ニュース、柳川百選まち歩き(12-13) ◆情報わいど(14-20) ◆がんばったね(20) ◆もちふみデビュー(21) ◆保健ガイド(22-23) ◆新市史抄片(24)



有明海沿岸道路 着実に前進

自動車専用道路「有明海沿岸道路」の大和南ICから徳益ICの区間3.2kmが、9月9日の午後3時に開通しました。これにより、大牟田市の三池港ICから徳益ICまでの16.9kmが開通。大牟田市から佐賀県鹿島市までの区間、約55kmの開通を目指して、現在工事が進められています。この日の午前中に、大和公民館で催された式典の後、大和北IC付近で国会議員や県議会議員、関係自治体の首長らによるテープカット(写真左)が行われ、区間の開通を祝いました。



柳川の公民館の建築

神社の境内に公民館が建っていることをよく見かけるが、それらを含め、市内には築50年以上を経過した公民館が数棟残っている。例えば、昭和25年の旧沖田公民館(西浜武)、昭和25年ごろの新村公民館(新村)、昭和30年の島田地区公民館(白鳥)、昭和31年の宮下公民館(間)、昭和34年の旧蒲生公民館(蒲生、平成20年解体)である。なお、島田地区公民館は、当時の記録簿に「天満宮社務建築」と記されている。



旧沖田公民館(西浜武)



新村公民館(新村)



島田地区公民館(白鳥)



宮下公民館(間)



旧蒲生公民館(蒲生)

旧蒲生が高尾儀松である。上記の古い公民館には共通した建築上の特色がある。妻入、平入の違いはあるものの屋根を半切妻造とすることが多い。妻入では旧沖田・旧蒲生、平入では島田・宮下である。玄関の屋根も半切妻造になっているのが平入の2棟である。新村は入母屋造・妻入の屋根で、玄関も入母屋造とする。

田・宮下である。島田と旧蒲生は板張りの隣の畳敷の部屋に床の間があり、宮下と旧蒲生には違棚も設けている。公民館は戦前にも存在していたと言われているが、昭和24年の社会教育法の制定によって法的に位置づけられた。古い建物を公民館に転用している事例は全国的に確認できるが、社会教育法に基づく初期の公民館建築が残ることは少ない。従って、昭和25年の旧沖田とその他の新村は、初期の公民館建築として極めて貴重であると言えよう。

市史編集委員 松岡高弘

人のうごき

- 平成24年8月末現在
- 人口 71,199人(前月比-103)
 - 男 33,747人(-36)
 - 女 37,452人(-67)
 - 出生 42人、死亡 91人
 - 転入 114人、転出 168人
 - 世帯数 24,863世帯(-15)